

**日本アジアグループ 香川県初、四国最大級のメガソーラー(2MW)を完成
～日照量豊富な瀬戸内の塩田跡地で、未来のエネルギーづくりがはじまります～**

グリーン・コミュニティの実現を目指し、国内外でメガソーラー発電所の開発に注力する日本アジアグループ株式会社(コード:3751、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:呉 文 繡、以下「日本アジアグループ」)は、このたび、香川県坂出市において塩田跡地(総社塩産株式会社所有)を活用したメガソーラー発電所、坂出ソーラーウェイを完成させました。



瀬戸大橋を背景に坂出ソーラーウェイ (空撮)

人間の知恵と工夫と努力の結晶である塩作りによって発展してきた坂出市において、その塩田跡地から未来のエネルギー発電がいよいよスタートします。

坂出ソーラーウェイは、本年7月の再生可能エネルギーの固定価格買取制度施行後、香川県初、そして四国においても最大級のメガソーラー発電所になります。瀬戸内海に面した塩田跡地を活用し、総事業費約6億円、出力約2MW(2,000kW)、一般家庭の約600世帯※1に相当する規模の太陽光発電所になります。発電した電力は四国電力に売電いたします。パネルは高い実発電量の実績を持つソーラーフロンティア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:亀田 繁明)製の CIS 太陽電池モジュールを採用しています。

日本アジアグループは再生可能エネルギーの固定価格買取制度のもとメガソーラー発電所の開発に向け、これまでの実績により培った技術とノウハウを活用し、地域特性にあわせた太陽光発電所の開発を行うとともに、地域住民の方々と本施設を活用した地域づくり、まちづくりへの取り組みを進めてまいります。

■ 坂出ソーラーウェイ概要

発電所名	坂出ソーラーウェイ
事業者	日本アジアグループ株式会社
施工監理	国際ランド&ディベロップメント株式会社
所在地	香川県坂出市林田町字洲鼻前 2851-44 他
最大出力	約2MW(2,000kW)
敷地面積	約33,000㎡
パネル種類	CIS 化合物型 ソーラーフロンティア株式会社製
パネル枚数	13,320枚
稼動開始	2012年11月



坂出ソーラーウェイ

以上

※1 住宅に設置する太陽光発電システムの平均設置容量:3.0~3.5kW(当社調べ)

<空撮>



<北西側から>



<西側から>



<南側から>



<南西側から>

【日本アジアグループについて】

日本アジアグループは、日本と世界の確かな未来のために、人と地球に優しいまちづくり「グリーン・コミュニティ」の実現を目指しています。

生活や経済活動を支える新たな社会インフラとしての空間情報の整備・構築、利活用を提供する「空間情報コンサルティング事業」、低炭素で防災機能を強化したエコタウン開発を推進し、環境価値の創出と資産価値の向上を実現する「グリーンプロパティ事業」、自然エネルギーの普及を後押しする太陽光発電所開発を企画から資金調達・建設・管理運営まで一貫して行う「グリーンエネルギー事業」の3つの技術サービスと、産業と社会の発展に資本を供給する「ファイナンシャルサービス事業」が緊密に連携・サポートすることで、国内からアジア、海外まで幅広く事業を展開しています。

【名 称】 日本アジアグループ株式会社(持株会社)

【上 場 市 場】 東京証券取引所マザーズ(コード:3751)

【本社所在地】 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地

【資 本 金】 38 億円

【従 業 員 数】 2,754 人(連結)(2012 年 4 月末現在)

【子 会 社 数】 69 社(2012 年 4 月末現在)

【お問い合わせ先】

日本アジアグループ株式会社

経営企画本部コーポレート・コミュニケーション部 : 鈴木

TEL: 03-3288-5704 e-mail: press@japanasiagroup.jp URL: <http://www.japanasiagroup.jp/>